

(依頼内容 03 新たなシステムをベースとした次期システムにかかる情報提供依頼内容の詳細)

## 新たなシステムをベースとした次期システムの構築にかかる情報提供依頼内容の詳細

### はじめに

この資料は、三重県（以下、「本県」という。）が実施している「三重県総合税システムの構築に係る情報提供依頼」のうち、「新たなシステムをベースとした次期システムの構築」に係る情報提供依頼の内容について、詳細を記載したものです。

情報提供を依頼したい内容については、「1 情報提供を依頼したい内容」を、提案に際して考慮していただきたい項目については、「2 提案に際して考慮いただきたい内容」をご確認ください。

### 1 情報提供を依頼したい内容

現行の「三重県総合税システム」は、平成13年度に構築後、機器更新や機能追加等を実施しつつ現在まで運用を行っていますが、長期間にわたる運用の弊害として、競争性の欠如による運用経費の高止まりのほか、機能の陳腐化、情報セキュリティ上の危殆化を招いていると考えています。

さらに、地方公共団体（市町村）における基幹業務システムの標準化、ガバメントクラウドの利用推進等の自治体業務のDXへの対応等、外部環境が大きく変化している中で、現行システムでは対応が不可能、または対応のためにその都度高額な費用が発生するといった事態に陥ることを危惧しています。

また、パッケージ版の税システムや、税システムの共同利用についても、ここ数年で利用するためのハードルが下がったため、これらの利用について、改めて検討を行う必要があると考えています。

しかし、全く新しいシステムを構築し、移行を行う場合は、再構築に高額な費用が発生するだけでなく、県税事務所における業務の進め方とシステム内の機能についてすり合わせを行ったうえで、再構成を行ったり、利用者がゼロから新しいシステムの操作について習熟する必要があると、大きな負担を伴うことが想定されます。さらに、再構築の結果として業務の複雑化を招いたり、その後の改修等への対応ができず、あらためて再構築が必要になったりするなど、現行システムでは発生していないリスクが発生する可能性も考慮する必要があります。

つきましては、現行システムを前提としない新たなシステムをベースとした次期システムについて「2 提案に際して考慮いただきたい内容」をふまえ、情報提供をお願いします。なお、現時点で対応が困難なものや、不可能なもの、条件がそろえば対応可能なもの等についても、可能な範囲で情報提供いただくようご協力をお願いします。

さらに、提案を行っていただいた内容を実現するための課題や費用等についても、可能な範囲でお示しいただくようお願いいたします。

(依頼内容 03 新たなシステムをベースとした次期システムにかかる情報提供依頼内容の詳細)

## 2 提案に際して考慮いただきたい内容

情報提供を実施いただくに当たり、情報提供依頼項目「依頼内容 01 三重県総合税システムのあるべき姿にかかる情報提供依頼内容の詳細」における「2 提案に際して考慮いただきたい内容」の

- (1) 次期システムにおける全体的な考え方
- (2) 現行システムにおける課題（機能要件）
- (3) 現行システムにおける課題（非機能要件）
- (4) 外部環境の変化

のほか、以下に示す「(1) 新たなシステムをベースとした次期システムの提案」「(2) 新たなシステムをベースとすることによるメリット（デメリット）」に加え、「(3) 新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合の課題と対応策」についても考慮いただいたうえで、可能な範囲で情報提供をお願いします。

なお、システム全体に対する情報提供だけでなく、それぞれの課題に対する情報提供のみでも構いません。さらに、下記の課題等にとらわれず、今後対応すべき課題等があれば、できる限りの情報提供についてご協力をお願いします。

### (1) 新たなシステムをベースとした次期システムの提案

新たなシステムをベースとして次期システムを構築するにあたり、現時点で予定されている制度改正への対応やその他解決すべき各種課題への改善策を盛り込んだ次期システムの基本構成や費用等について、情報提供をお願いします。

特に、パッケージ版の税システムや、税システムの共同利用等、現行システムの利用を前提としない次期システムについて、過去の事例や実績等があれば、それらを積極的に取り入れた内容にて情報提供を行っていただくようお願いします。

### (2) 新たなシステムをベースとすることによるメリット（デメリット）

#### ア 費用

- ・ 新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合、現行システムを活用して次期システムを構築する場合と比較した際の費用面でのメリット（デメリット）について情報提供をお願いします。
- ・ なお、現行システムにおける費用については、競争性の欠如の他、維持管理経費や改修経費の高止まりなど、改善すべき点が多いと考えていますので、次期システムにおいて、同様の課題が発生しないような仕組みがあれば、積極的に提案をいただくようお願いします。

#### イ 業務負荷

- ・ 新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合、現行システムを活用して次期システムを構築する場合と比較した際の業務量におけるメリット（デメリット）について情報提供をお願いします。
- ・ なお、業務負荷については、構築時における業務負荷と通常運用時における業務負荷のそれぞれケースに分けて、情報提供をお願いします。

- ・ 特に、新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合、抜本的な業務見直しを行うことで、「通常運用時における業務負荷」を大きく改善することが期待できる一方、現行システムは、本県の税業務と密接に関連して構築されていることから、新システム構築時にはシステムフローと既存業務をすり合わせる必要があるほか、操作研修の受講など、「構築時における業務負荷」が高まると想定していますので、過去の導入事例があれば情報提供をお願いします。
- ・ さらに、現行システムにおける通常運用時における業務負荷については、職員側の業務負荷に加え、運用管理 SE における維持管理業務においても相当な業務負荷が発生していることから、改善策があれば情報提供をいただくとともに、次期システムにおいて維持管理業務の負荷を低減する仕組み等が実現可能であれば、こちらも情報提供をいただくようお願いします。

#### ウ 機能改修

- ・ 新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合の機能改修において、現行システムをベースとして構築する場合と比較したメリット（デメリット）があれば、情報提供をお願いします。また、その根拠や過去の成功事例があれば、併せて説明をお願いします。
- ・ 新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合、構築後の機能改修に関して現行システムを活用して構築する場合と比較した際のメリット（デメリット）について情報提供をお願いします。
- ・ なお、新たなシステムをベースとする場合は、これまでの制度改正時における機能改修の他、標準化対応や外部連携の強化等にかかる機能改修についても、十分考慮され、かつ、効率的に対応可能な仕組みを備えた形で構築されるものと想定していますので、具体的な対応方法やその詳細について情報提供をお願いします。

#### エ データ移行

- ・ 現行システムのリース期限である令和 12 年 9 月末日までに現行システムから次期システムに対してデータ移行を行う必要がありますが、新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合のデータ移行において、現行システムをベースとして構築する場合と比較したメリット（デメリット）があれば、情報提供をお願いします。また、その根拠や過去の成功事例があれば、併せて説明をお願いします。
- ・ 現行システムからのデータ移行を行う場合の具体的な手順について、過去の実績や成功事例を踏まえて、情報提供をいただくようお願いいたします。特に、現行システムからのデータ出力に対して、どのような準備を行う必要があるかについて、説明をいただくようお願いいたします。
- ・ また、システムの周期的な更改を考慮した際に、次々期システムへのデータ移行が容易に実施できるような施策があれば情報提供をお願いします。

## オ その他

- ・ その他、新たなシステムをベースとした次期システムを構築する場合と、現行システムを活用して再構築する場合とを比較した際のメリット（デメリット）について情報提供をお願いします。

## (3) 新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合の課題と対応策

### ア 電算担当職員の業務負荷

- ・ 次期システムを構築する場合、県の担当職員が本県側の設計・構築業務における作業等を担当することになると想定していますが、その人数や期間、求められる税務業務等の知識や経験年数等の詳細について、過去の事例や実績等を踏まえて、情報提供をいただくようお願いします。また、当該担当職員をフォローするための仕組みや体制についても情報提供をいただくようお願いします。
- ・ 新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合、現行システムを活用して再構築する場合と比較して、本県の担当職員の業務負荷が複数年度に渡って著しく高くなると想定していますが、構築を担当する受託事業者との間で適切な役割分担を行ったり、本県の電算担当職員にかかる業務の一部を外部委託したりすることで、ある程度は業務負荷を下げることができると考えています。
- ・ そのため、新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合に、担当職員の業務負荷を低減するための対応策等があれば、過去の事例や成功事例等を踏まえて、情報提供をいただくようお願いします。

### イ 費用を低減させるための事前準備

- ・ 新たなシステムをベースとして次期システムを構築する場合、構築時に高額な費用が発生すると想定していますが、費用の低減につながる準備作業等があれば情報提供をお願いします。
- ・ 例えば、契約後において、設計・構築業務にかかる工数が上振れしないよう、事前に機能要件を確定しておく、確定した要件や仕様書（案）等について事前に公表し意見を求める（意見招請の実施）、やりたいことだけでなく不要なことについても整理しておく、意思決定を行うためのルールを決定しておくなど、いくつかの対策等が考えられますが、その中で特に効果の高い準備作業があれば、具体例とともに情報提供をいただくようお願いします。

### ウ 現行システムにかかる情報提供

- ・ 新たなシステムをベースとした新システムを構築する場合であっても、現行システムにおける機能一覧や画面一覧の他、詳細な業務フローやデータフォーマット等について、調査を行う必要があると想定しています。しかし、次期システムの構築にかかる業務を発注する際の公告期間だけでは、十分な情報提供ができないと想定しています。

(依頼内容 03 新たなシステムをベースとした次期システムにかかる情報提供依頼内容の詳細)

- ・ そのため、限られた調達期間の中であっても、応札価格を決定するために必要となる情報が過不足なく提供できるよう、どのような情報を準備しておく必要があるか、また調達期間に先立って情報を提供する必要がある場合は、その詳細等について情報提供をいただくようお願いいたします。

#### **エ パッケージ製品等における機能追加対応**

- ・ 新たなシステムをベースとした新システムを構築する場合、フルスクラッチで構築する場合もあれば、パッケージ製品を利用した構築や、クラウドサービスを利用した構築等もあると想定しています。
- ・ パッケージ製品を利用した構築やクラウドサービスを利用した構築を行った場合、原則として、パッケージ製品やクラウドサービスにてあらかじめ用意された機能を利用することになると想定されるため、システムの機能に合わせて本県の税業務を再構成する必要があると考えていますが、一方で法定外目的税をはじめ、本件独自の業務（法定外税目に関する業務など）でシステムの機能上対応が不可能なケースがあるものと考えられます。
- ・ そのため、パッケージ製品等を用いた提案を行う場合は、本県独自仕様への対応（カスタマイズ）を行う必要がある場合の対応方針等についても、情報提供をいただくようお願いいたします。
- ・ さらに、本県独自仕様により構築したプログラム等にかかる著作権（著作財産権）の帰属にかかる考え方についても、情報提供をいただくようお願いいたします。

#### **オ その他の手法**

- ・ その他、現行システムにおける各種課題について、改善を行うための解決策等があれば、情報提供をいただくようお願いいたします。